新京日日新聞

夕刊 二月二十一日

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵稅一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二〇五 營業局專用(3)三三二〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越内之介

綏遠問題の眞相を陸相議會で明かにす

内蒙を通じて赤化の手延びれば帝國は默視し得ず

【東京國通】廿日の衆議院豫算總會において松田竹千代君(民)の質問に關聯して杉山陸相は綏遠問題に關し左の如く説明した

今度の綏遠事件につきまして交通通信不便な内蒙方面からの報道が兎角遲れがちなのに反し北平天津方面及び南京方面よりする支那側の宣傳的放送が多分に内外に影響致しまして我國民の一部にも亦幾分右放送に惑はされてゐるものがあるかに感ぜられます事は遺憾に存ずる處であります、以下實相を申上げます、蒙古民族は多年に亘る支那の搾取政策と漢民族の壓迫、僞瞞とに對し心より痛憤致して居ります、外蒙が露國に附隨致しましたのも其原因の一は漢民族に對する反感不滿に存します内蒙は外蒙以上に漢民族に對して反感を抱いて居りますが外蒙の獨立(大正十年)を契機としましてこの反感は愈よ強くなり一方世界思潮の波及による覺醒と往昔の大蒙古帝國に對する追懷があり、同時に被壓迫民族の悲哀を痛感し、しかも露支いづれにも依存し難き感情より他に依存すべきところを求めて居りましたが、たまたま滿洲事變による滿洲國の誕生により一大刺戟を受け古來より清朝に對する尊崇の念を有して居ります關係上殊に滿洲國が蒙政部を設け在滿蒙古民族(約六十萬)に仁政を施すことを知りたる結果、滿洲國依存の感情を起すに至り、殊に蒙人のわが皇室に對する尊崇の念は厚きものがあります、かゝる狀態で昭和八年六月には遂に内蒙の先覺者である德王が南京政府に對して高度の自治を要求するに至り次で昭和九年春百靈廟に於て高度の自治宣言を提唱して蒙政會を設立するに至りましたが、德王は門地と年齡の關係等から自ら本會の秘書長となり、委員長には雲王、副委員長には索王と沙王とを推戴しました、この蒙政會は一種の自治政權で南京政府はある程度の自治を認め政費の支辨その他若干の約束を與へてをりますしかるに元來南京政府はこれについて誠意を有せず爾來政費の支給を怠り、甚だしきは蒙政會の收入を横領し、その他種々威嚇や壓迫を加へ、遂に昨年はじめ傅作義氏は綏遠蒙政會を組織して德王の蒙政會に對抗しこれを崩壞せんと企圖するに至りました、これにつきまして德王はいよいよ日滿依存の決意を固め、ウジムチンに内蒙古政府を組織したのであります、その後内蒙軍の兵力は逐次增加し、只今では一萬數千を算するに至つてをります

この外に客分として王英の雜軍數千があります元來王英は豫てから中央に對し不平不滿を有して居りましたので德王の聲望を高くするのを見て之により私兵を急造し父祖の開拓した五原の奪回を企圖し且つ黄河上流より侵入する共産軍の侵入に對し内蒙軍の前衛たらんと申出ました、德王は王英軍の兵力大となるにつれ、その給與は困難を感じて居た折柄これに同意したので王英は五原に向ひ西進を開始するに至つたのであります、これよりさき德王と傅作義氏との間には共同防共相互平和の内諾がありましたが成都事件以來支那の反日空氣は增大して綏遠にも波及し傅作義氏も國民に對する手前遂に對敵行動を準備するやうになりました、そこで王英軍が西進するやその翌日には早くも紅格兒圖において不意にこれに應戰するの已むなきに至りました、こゝにおいて紅格兒圖戰が惹起せられ、兩軍力戰すること四日、王英軍の勝利に歸しました、傅作義氏はこの戰敗によつて自己の地位を失ふことをおそれ一切これを秘匿すると共に蒙古側の手薄に乘じ百靈廟を急襲してこれを占領したのであります、この間内蒙軍は嚴に盟境を警備して居つたので何等戰鬪を交へて居りません、支那が綏遠に大戰爭が勃發したかの如き放送をして居りますのは事實に相違するものであります、日滿においては内蒙軍が數倍優勢の綏遠軍に猪突猛進的に行動して自滅を招くが如きは最も欲せざるところであり、これを驅つて戰爭行爲に出でしめたと爲すが如きは全然事實に反するものであります、しかし内蒙が反滿抗日地帶と化しては内蒙を通じて滿洲に赤化の手が伸びることは到底忍びませんから斯る事態に立至りますなれば帝國としても之を默視し得ないのであります

臨時議會召集決議案

民政共同提案に反對

―民政黨總務會で決定―

【東京國通】民政黨では正午院内外總務會を開き小會派の交渉にかゝる地方財政調整交附金增額に關する臨時議會の召集要求決議案の提出に對しては勿論增額の必要は認めるが重大案件であるから豫案に對する黨議の決定まで贊否を留保することならびに社大黨の交渉にかゝる議會機能發揚に關する決議案ならびに軍事費調查委員會問題に關する決議案の提出に對してはいづれも趣旨には贊成であるがなほ再檢討を要するからこの際共同提案には應じ難いこと等の態度を決定して午後一時散會した

右兩者に對しその合併を勸誘したるところ、兩者においても政府の趣旨に贊し、

日本無線と國際電話を合併

國際電氣通信會社を創立

【東京國通】政府は對外通信機關の整備統一をはかるため豫て日本無線、國際電話兩會社の合併を企圖し、諸般の準備を進めてゐたが、廿日の院内閣議においていよいよ右に關する日本無線電信株式會社法改正案を今議會に提出することに決定した、なほ新會社の名稱は國際電氣通信株式會社となるはずである、政府は廿日趣旨を左の如く發表した

政府は對外無線電信事業の急速なる發達をはかるため大正十四年日本無線電信株式會社を設立せしめ、同社の建設する無線電信設備を使用して對外電信事業の運營を行ふこととし、又政府は七年國際電話株式會社の設立により同社の設備を利用して國際電話業務を創始したが、その後における我國の國際的地位の向上に伴ひ無線電信および無線電話を一體として整備統一することが通信政策上緊要と認められるに至つたのである、よつて政府は先般來この程合併準備を進めるに至つたので、これが實現上現在の日本無線電信株式會社法に若干の改正を加へることゝし、廿日の閣議において關係法律案を今議會に提出することに決定した、すなはち改正の要旨とするところは會社をして無線電信、無線電話設備のみならず必要ある場合は對外通信用の海底電線の設備をもなさしめるやう事業目的を擴張するとともに會社の名稱をその事業内容にそはしむるため國際電氣通信株式會社と變更せんとするなどである、しかして現在わが國の直通無線連絡は無線電信に二方面また國際電話七方面であるが、今後無線通信の擴張により更に無線電信は濠洲、香港、エヂプト等二十二方面、無線電話は英領印度、シャム、アルゼンチン等十三方面との間に直接連絡の開始をみるべく更に歐米および支那との間に寫眞電送も開始し得るに至るべく、わが國の通商貿易等の進展に多大の貢獻をなすに至るべきは勿論、來るべきオリンピックに對する速報陣の強化が期待されてゐる

秩父御名代宮 隨員決定

【東京國通】いよいよ三月十八日出帆の平安丸にて横濱から御出航あらせられる秩父御名代宮、同妃兩殿下の隨員は松平式部長官以下左の如く廿日御付けられた

式部長官 子爵 松平慶民
秩父宮附事務官伯爵 前田利男
御附武官 山口貞男
御用取扱 山座仙幸
宮内屬 澁谷忠治
同 溝口三郎
侍女 河津てる
同 高田りき
軍醫監 中村一

米海軍の精鋭

四月西太平洋で大演習

【サンペドロ十九日發國通】太平洋上の無條約時代を迎へアメリカ海軍の精鋭は四月中旬から六週間にわたり作戰第十八號に基き西太平洋上に大演習を擧行することゝなつた、哨海、戰鬪兩艦隊を基幹とするアメリカ海軍の艦艇總數二百隻は四月十六日拂曉サンデイエゴ、サンピードロ兩根據地を扇型に展開しながら逐次攻防戰に入る豫定だが、演習の領域はサンピードロ根據地を頂點とし太平洋の要衝ミッドウエー島、アリューシャン群島西端等を結ぶ三角形二百萬平方キロの尨大な水面で、演習部隊は日米兩國間のいはゆる紳士條約に基く太平洋の境界東徑百八十度の日附變更線まで進出するとみられる

義勇軍派遣監視

廿日より實行

効果は疑問視さる

【ロンドン十九日發國通】スペイン内亂不干渉分科委員會は十九日午後英國外務省に開かれ先づ義勇軍のスペイン派遣監視は廿日夜半から實施することを最終的に決定した、次いで海上監視案について協議したがソ聯、ポルトガル兩國海軍も監視案に參加しビスケー灣の沖を分擔することに決定し、最後の決定については廿二日委員會を再開することになつてゐるから特別の支障なき限りその席上で最後的決定をみるものと豫想されてゐる、陸上監視案についてはポルトガル政府は百五十名の英國監視員がポルトガル國境及港灣を監視することに同意してゐるからこれもまとまるものとみられてゐる、何れにせよ三月六日夜半から監視案が實施される筈であるが、スペイン向け軍需品や義勇軍は不干渉委員會に參加してゐないメキシコや中米諸國の船舶で輸送されてゐる現狀であるから果して豫期の效果を擧げ得るか否かは大いに疑問視されてゐる

商埠地歸屬解釋

合同部令公布さる

商埠局において現に管理中である商埠地の歸屬問題については一部疑義があつたが、右は康德元年十月商埠地區域内國有財産の管理處分に關する件によつて決定してゐるほか現に特別市、市又は縣の維持管理に屬してゐるものはこれをその公共團體の所有と認める事となり、財政部、外交部、民政部合同訓令をもつて十八日附その旨公布した、又奉天市工業區域内の土地取扱に關しても國有財産の管理處分と今次の訓令を準用する事となつた、たゞし商埠地區域内の土地で日本軍がその租權を押收したもの および政府が既に出資したものは除外される

一色興銀理事 歸任談

興銀一色理事は去月中旬内地シンヂケート銀行團との折衝新行員の採用の要務を帶びて東上中であつたが、東京、名古屋に於ける披露宴を終へ、富田總裁に先立つて廿日ひかりで歸京、左の如く語つた

今回の東上は就任挨拶を兼ねてシンヂケート銀行團との連絡、新卒業生の採用で東京では結城藏相とも會ひ夕飯をともにして種々意見を交換した、内地財界の一般情勢は、結城氏が經濟實務に通曉し、單なる机上の空論家でない點を認めて好感を示し、總てが非常にうまく行つてる、シンヂケート團も滿洲を無視して起債情勢を考慮するわけにゆかぬ點を知悉してゐるので現狀についても諒解を得た、興銀で内地の割增金附勸業債券と同樣な割增金附興業債券を發行する計畫はあるが、現下の經濟情勢では早急に實現する要はないと思ふ、金融は社會的政策と銀行業務の見地から考慮すべき問題であり、今後の方針として事業其ものに對する善導を主眼としてやりたいと思ふ、本行新築問題も考へねばならぬが、外觀よりは内容の整備が必要だらう

松木秘書處長

東上中の總務廳松木秘書處長は二十日ひかりで歸京した

軍管區司令官會議終る

國軍司令官會議第二日目は議事を午後に廻し午前十時より軍政部に各司令官集合の上同十時四十分于軍政部大臣、佐々木最高顧問の先導にて各司令官宮廷府に參入一同謁見を賜りたる後、各管區の軍狀を詳細に奏上終つて別殿に於て午餐を賜り、午後一時一同感激して宮廷府を退出した、午後は十九日に引續き一時卅分より會議に入り同四時散會、國軍司令官會議は終つた

人事往來

着京

▲菊竹稻穗氏(外交部囑託)二十日來京ヤマトホテル
▲高橋保一氏(滿鐵)同
▲上田秀正氏(同)同
▲古澤道三氏(商)同
▲植村秀一氏(ハルビン市立病院長)同
▲勝弘貞二郎氏(農業)同
▲佐々木孝三郎氏(奉天興信所長)同
▲高岡又一郎氏(高岡組)同
▲宮田正男氏(會社員)同
▲佐藤俊夫氏(官吏)同向陽ホテル
▲剛崎虎雄氏(國際運輸重役)同
▲水谷 之氏(富國火災)同
▲淺抜警氏(滿日)同滿蒙旅館
▲平山惣吉氏(鐵道總局)同
▲内田孝氏(ハルビン稅關)同國都ホテル
▲岡本健一氏(商)同
▲石關信助氏(滿鐵)同
▲里村英夫氏(同)同
▲小宮山佑次氏(土木建築)同
▲高須祐三氏(奉天交通會社)同
▲脇本博司氏(パラマウント)同
▲佐伯德七氏(日滿緬羊)同
▲井上栗敬氏(同)同
▲近江哲藏氏(同)同
▲小室道郎氏(牧畜)同
▲下口健彌氏(大正生命奉天支社長)同旭ホテル
▲近藤續行氏(官吏)國際ホテル
▲望月昌平氏(同)同
▲井上朝夫氏(證券商)同
▲石毛公滿氏(滿鐵)同
▲田澤茂氏(天津公司)同
▲大川正一氏(土木業)同
▲崎村隆良氏(同)同
▲石渡一氏(自動車工業)同太陽ホテル
▲吉本勝藏氏(同)同
▲七田秀雄氏(釜山測候所長)同
▲今村佐太郎氏(高岡組)同
▲中園米吉氏(吉林市公署)同愛國ホテル
▲森中吉氏(同)同
▲森貞夫氏(同)同
▲小川一郎氏(商)同名古屋ホテル
▲岩川岩七郎氏(同)同
▲小犬丸信夫氏(官吏)同
▲淺川淑彦氏(教授)同
▲嘉村貞一氏(商)同大和新館
▲日尾植三氏(同)同
▲増貞雄氏(土木業)同
▲山口彌作氏(官吏)同富士屋
▲森元浩氏(木材商)同
▲加藤七郎氏(電氣會社)同

出發

▲矢中快輔氏 二十日發奉天へ
▲諸富鹿四郎氏 同
▲石寶軍秋氏 同ハルビンへ
▲小川政之助氏 同大連へ
▲前島純夫氏 同
▲千種峰藏氏 同
▲櫻澤千藏氏 同
▲小澤宮義氏 同清津へ
▲大久保正登氏 同大連へ
▲鈴木茂氏 同ハルビンへ
▲入谷友市氏 同
▲井上廣吉氏 同鞍山へ
▲樋高直氏 同錦州へ
▲谷村清三氏 同ハルビンへ
▲米澤西郎氏 同奉天へ
▲伊藤信義氏 同吉林へ
▲橋口範男氏 同大連へ
▲大賀賢太郎氏 同ハルビンへ
▲服部昇一氏 同大連へ
▲石井直氏 同京城へ
▲須東忠三氏 同奉天へ
▲伊藤茂明氏 同撫順へ
▲松岡香太郎氏 同ハルビンへ
▲植村秀一氏 同
▲内山健氏 同
▲武富光氏 同樺甸へ
▲入江盛男氏 同吉林へ
▲清水寛文氏 同圖們へ
▲望月實氏 同
▲入江吉三氏 同ハルビンへ
▲池田高保氏 同奉天へ
▲萩野滿次郎氏 同撫順へ
▲瀨田修逸氏 同
▲大友甲氏 同奉天へ
▲野口定氏 同ハルビンへ
▲猪口理保氏 同龍井へ
▲福田勇氏 同大連へ
▲飯島慶三氏 同奉天へ
▲山口正信氏 同
▲大久保五藏氏 同撫順へ
▲大關藏夫氏 同吉林へ
▲占部利夫氏 同大連へ
▲森本利男氏 同
▲高木繼司氏 同奉天へ
▲柳澤彌吉氏 同
▲鶴岡壽氏 同

その日〳〵

□ 綏遠問題の眞相が闡明された、作られたニュースの多い中に遲くともこの事は良い

□ 報道の不當な制限は撤せらるべきであることが、この場合にも知られる

□ 東京の議政場は一日を休んで、それぞれに生氣をたくはへ得たかどうか

□ その次に來るものはほゞ明瞭となり、國民は默しつつそれに準備する

□ かるた會、古典趣味と現代的競技感が混つて織り出す雰圍氣も佳とすべし

歌は樂譜

(六十七) 山中峯太郎 作 水門讓二 畫

映畫館(五)

――すつかり、容子を見てやらう! そして、あしたの朝行つて賞めてやるわ。

いらいらして嫉みにたゞれて、正枝は、スツと立上ると、忠夫の後の方へ、スルスルと音も立てずに、座席をかへてしまつた。

――これで見ると、俊子との關係は、ほんとに、さうだツてんだらう?

まばたきもせず正枝は、忠夫と横にゐる令嬢と、白髪まじりの男の氣配を、後から見つめてゐた。

映畫に日章旗がひるがへり『世界大戰を語る』が拍手のうちに終つた。すると

『歷史はくりかへすと言ふが……』

と、村上校長は、感慨に打たれて

『これほどの大戰を、歐洲各國がやつて、また最近に、形勢が切迫してるといふのは、石田君、人間の爭鬪性といふものは、よほど根づよいんだね』

この聲が、うしろへ聞えた

――あんなことを言つてる何かしら?

と、正枝は、ベレエ帽を眉の上まで、グッと下げた。

忠夫は校長の方へ振りむいて……

『平和を望んでゐても、思ふやうにならないのでせう』

『それは、日本も同じことだが』

十分の休憩で、ゾロゾロと廊下へ出て行く人を見ると

『キミ子、石田君と休みに出てはどうかね』

『えゝ……』

キミ子は、はにかんで、うつむいた。

『少し休んでいらつしやい。今の映畫、ずゐぶん怖かつたでせう』

アキ子夫人が、いたはつて言つた。

――あら、母親なのね、十九世紀の束髮にいつてるわ!

と、正枝は、うしろから唇をゆがめた。

『いゝえ、いゝんですの』

キミ子は、石田先生が……思ふ人が、立たずにゐるので自分も座席にゐたいのだつた。こんなに近く、思ふ人の傍に並んだことは、初めてだつた。胸をさわぎして、何か言ふと、顏に血が上つて

――早く次の映畫が始まるといゝのに!

と、明るい電燈の光りが、キミ子は、まぶしい氣がして膝の上にハンカチをいぢつてゐた。それを正枝は、うしろから見ると

――まあ、本野さんに、すつかり、參つてるんだわ、あの恰好!

と、いきなり

――出てツてやらうかしら?

と、身もだえした。

――何ていふ令孃だらう? 身なりは、まあ相當だけれど……。

そこへ出て行つて、不意にかきみだしてやりたい。けれど、

――本野さんが、また今さきのやうに、あたしを、相手にしなかつたら?

それこそ、正枝は、恥をかきに出て行くやうなものだつた。さう氣がつくと、

――あたし、口惜い!

嫉みと疑ひに、ひとりで身もだえしながら、正枝は、座席にジリジリしてゐた。

休憩演奏が、レコードによつてひゞいてゐる。

キミ子は、そつとプログラムを見た。

――何の曲かしら?

『戀しい乙女よ』といふ曲なのに耳までキミ子は紅くなつた。

次の映畫になり、スクリーンが暗くなつた。アメリカ映畫だつた。濃厚なラヴシーンの動きに、キミ子は、いよいよ面はゆく、ジッと俯向いてまたソッと顏をあげたりした。

忠夫は、かうしたキミ子の氣配に、可憐な處女を……キミ子の純情さを、ひしひしと感じずにゐられなかつた。

『これは、つまらない映畫だね』

村上校長は、さゝやくと、忠夫に言つた。

『君、これで、もう歸らうぢやないか』

佐野リーダーの吟聲に 指頭火と散る!

本社主催 第一回全新京かるた大會 昂奮中に開始さる

國都を久し振りで華やかな昂奮に捲き込んだ本社主催の第一回全新京かるた大會の日は遂に來て、曙町元ひとのみち教團は二十一日正午過ぎから

續々

集まる參加選手 觀衆の群れで時ならぬ賑はひをみせた、その中にも何しろ第一回の催しとして選手間の力倆の程も知れず榮冠を目指す自信は持てど油斷はならず自と緊張味が漂ふ、大廣間の正面に飾られた賞品は本社の優勝メタルを始め各甲、乙、丙、婦人の組に夫々市中から寄贈せられた好意の品々でその種類は次の通りである

▲岩間寶石店(中央通り)優勝カップ一個、額一號(中央通り)額椽二個 ▲林洋行(日本橋通り)高級便箋、五十册、高級封筒、五百枚 ▲大一カバン店(祝町)額椽二個、革製メモケース六個 ▲ニツケギヤラリー(大同大街)ネクタイ十本、ハンケチ五打 ▲三中井百貨店(大同大街)洋服ブラシ二十本 ▲宮木商店(吉野町)ハンケチ二打、モス一反 ▲片岡洋行(祝町)額椽二個掛額一個 ▲大信號(日本橋通り)石鹸牛打、クリーム、ポマード養毛液各一打 ▲アサヒ百貨店(東二條通)高級煙草セット一個 ▲森洋行(中央通り)高級置時計一個 ▲玉屋フトン店(東一條通り)座蒲團一枚(順序不同)

なほ當日の接待は甘栗太郎から甘栗一貫目、羊羹五本、新京犬猫病院から菓子、すきやき米久から湯茶ならびに女給さんの派遣があり出場選手に充分な

滿足

足を與へる、かくして定刻上田本社代表の一場の挨拶についで佐野審判長の注意あり、組合せを終つていよいよ第一回豫選開始、佐野リーダーの朗々たる吟聲に空札一枚君が代は……

事業(產業部庶務)黑瀨勝美 消費(經理部庶務)大槻輝雄 體育(總務部庶務)小名吉雄 青年(總務文書)佐藤春雄 婦人 湯地利一

日本の國技を通じて 日滿の親善希望

＝荒汐、綾瀨川兩氏語る＝

既報東京大相撲一行の大擧來京問題は二、三日中に更に關係者協議の結果愈よ話は本極りの運びとなる摸樣であるが富士屋ホテルに宿泊中の年寄荒汐、理事長綾瀨川氏を訪へば交々語る

未だ決定したと云ふ譯ではありません二、三日中に軍人會館で關係者と協議の結果でないと何も申し上げられません、何しろ五百人と云ふ巨人連ばかりですから費用も大したものです、愈よ興業するとすれば見物人や此等の巨人連を收容する旅館が不足するでせう、一行は新京での興業を終へたら四班に別れ北海道、新潟朝鮮方面に向ふ事となつてゐます新京での興業は東京の國技館でやるものと同樣ですから八百長等はなく眞劍な勝負がみられると云ふもので春場所で玉錦病氣の爲遂にみられなかつた玉錦對双葉等の一騎打もみられる譯であります、此れを契機として滿洲にも永久的國技館の設置問題等も起るかも知れませんが其れは後の問題です、場所は地固と云ふ意味で新宮廷府邊りになるかも知れません、尚北支にゐる世界一の大男身長八尺八寸四十八貫(二十四)の超巨人を連れて來て取組ませて見樣とも思つてゐます、私等は日本古來の傳統を誇る國技相撲を滿洲國人にみせて日本精神の眞髓を認識せしめ度ひと思つてゐます

綿羊界の元老

小室道郞氏來京談

アメリカで綿羊と共に暮すこと三十年、綿羊の實地研究の權威者たる小室道郞氏は歸朝後北海道十勝國鹿追村に小室綿羊場を設け日本に於ける綿羊事業に先鞭をつけ更に東拓の依囑により濠洲から綿羊の大量輸入をなし北鮮に綿羊大牧場を設けるなど本邦綿羊界に絶大な貢獻をなしつゝあるが、今回某方面の依囑により滿洲の綿羊事業調査のため來滿したが氏は國都ホテルで左の如く語つた

滿洲の綿羊事業には二つの見方があるやうだ、濠洲のやうな天惠地を見て來たものは非常に悲觀した見方をしてゐるが僕のやうに北米の雪の中で羊と暮して來た者は決して悲觀しない、たゞ問題は羊の種類である、現在滿洲には四百萬頭からの羊が育つてゐるのであるから羊が育たないのではない、その地に適しない種類のものを殖やそうとするから無理があるのであるいよいよ仕事を始めるやうになれば僕は濠洲から持つて來た『ボーダレースタ』『ドーセットホルン』の二種を入れる考へだ、この種類は原產地か英國で滿洲の氣候にも充分耐へ得る見込みがあり性質が非常に强健で而も多產發育が速やかで肉からいつて滿洲には最も好適と思つてゐる、將來の滿洲はどうしても農畜業をもつてたゝねばなるまいがたゞ適當な人がゐないのが殘念だ

土們嶺征服の スキーヤー出發

新京驛、ビューロー共同主催本年掉尾のスキー大會は好天にめぐまれたけふ土們嶺の好スロープで盛大に開かれた、參加のスキーヤー一行三十名は午前十時三十五分發列車で新京酒井、神岡兩助役、中島係員、ビューロー田口、木村正副主任、多田係員等とゝもに招く土們嶺の處女雪に魅せられながら出發した

跳梁する匪賊團 殺人相次ぐ

拳銃所持の三人組强盜

二十一日午前二時三十分ごろ大屯署新立城分駐所管內曹家口子屯農業傅國振(三十五)方裏戸を破つて一名は拳銃、二名は梶棒所持の强盜侵入、睡眠中の傅を叩き起し金品を强要したが「びた一文ない」と答へるや賊は矢庭に發砲傅を其場に射殺し戰く家人を尻目に悠々家內を物色して目ぼしい物を掠奪南方に向けて逃走した、届出により首都警察廳村上捜查股長、下田鑑識股長等現場に急行、實地檢證をなすとともに大屯署を捜查本部に犯人嚴探中

滿鐵社員の 功績章制定さる

さきに滿鐵社員會より會社に請願中の卅年勤續社員に對する表彰ならびに功績賞制定問題はこの程會社の承認を得、實現をみることゝなつた、勤續社員表彰は來る四月の會社創業卅周年はれの記念式場において行はれる、會社に對し特別の功勞あつたものに功績賞が授與される筈

滿鐵社員會 役員決定

滿鐵社員會十二年度常任幹事ならびに本部長は廿日左の如く決定した

▲常任幹事 大連 伊ケ崎卓三 武村勝淸 奉天 第一 鈴木鷹信 平松百治 第二 古山勝夫 星名泰 撫順 倉橋泰彥 江崎重吉 新京 梅本正倫 菅野誠

▲本部各部長 庶務(人事課長)阿部愼一 會計(經理部庶務)赤塚尚友 組織(地方部學務)武田嵐雄 調查 青柳一 宣傳(總務部弘報)城所英一 編輯 未定 福祉(總務部福祉)田中行雄 相談(人事課)山本孫一

滿鐵社員ホクホクのこと 休日五日殖える

今年から滿洲國旗日も休業

滿鐵では本年より左の如く滿洲國側祝祭日にも休業することゝなつたが差當り來る廿三日は舊曆十三日皇帝萬壽の佳節に當るので關係機關は全部休業し祝意を表することゝなつた

一、春節(舊曆元旦)
二、萬壽節(舊曆一月十三日)
三、端午節(舊曆五月五日)
四、仲秋節(舊曆八月十五日)
五、建國記念日(陽曆三月一日)

待望のエルマン 北へ北への道

迫る新京公演にファン期待

樂聖アウアー門下の四天王の隨一として斯界に鳴り響いてゐる提琴の巨匠ミッシャ・エルマンは內地各地で未曾有の絶讚と好評を博し

名殘

を惜まれつゝ內地を離れ二十五日大連に上陸二十七日午後三時新京着同夜七時半から西廣場滿鐵倶樂部で滿洲結核豫防協會主催、本社後援で大演奏會を開くことゝなつた、その唸りを發する巾廣い音量と獨步の感覺的な音質とはヴイオリニスト間にエルマン、トーンなる新熟語がつくられた程でその入神の技に初めて接する國都の好樂家間には素晴らしい前景氣を呼んでゐる、なほ今回の演奏會は滿洲結核豫防協會が從來の事業たる健康相談事業、社會保健婦の巡回家庭訪問事業、巡回保健展覽會の開催、保健雜誌「健康滿洲」の刊行、虛弱兒童養護學校の建設事業資金の

一部

に充當するもので空前絶後といつてよいこの好機に世界的提琴王の神技に接し藝術的感覺の最高峰に陶醉されると共に滿洲にとつて最も切實な要求たる協會事業のため絶大なる支援を希望されてゐる

衞生主任官會議

全滿衞生主任官會議第二日は二十日午前十時より開會、前日に引續き衞生司提出の協議事項を議題として衞生司各科長說明のもとに逐條協議を行ひ一旦休憩、午後は引續き地方提出協議事項に入る筈、午前中の主なる協議事項左の如し

一、地方醫療機關の運用に關する件 國立醫院、戒煙所公醫および福民診療所等を地方行政機關に移讓したる結果、今後地方において運營ならびに新設される醫療機關に對する經費の負擔について意見如何
一、公醫制度の運用合理化に關する件 公醫を各縣に移管したるを機に各縣において縣立病院を設置するに當り意見如何
一、阿片交附金に關する件 交附金は本年度も交附するがその使用目的分配方法に變更の要なきや
一、麻藥の賣下に關する件 麻藥法は目下制定準備中であるが、專賣、非專賣麻藥の輸入、賣買方策を如何にすべきや
一、屠殺場の普及ならびに施設改善に關する件 屠殺場の普及ならびに施設の改善、屠畜檢查員の充實私設屠殺場の買收、屠畜料金の改正に對する意見如何
一、公共墓地設立に關する件 民衆の風俗習慣等によりそれぞれ異なる私有墓地の整理、公共墓地の設定ならびに管理等に關する意見如何
一、傳染病豫防に關する件 消毒、清潔方法の實施機關および經費負擔箇所、都市における衞生組合設置について意見如何
一、妓女の花柳病診療に關する件 花柳病診療所の設置および經營、檢診料および治療費負擔を如何にすべきや

× ×

午後の衞生主任官會議は地方提出の協議事項の審議に入つたが、主なるもの左の如し

一、省公署に衞生科、縣公署に衞生股設置の件
一、衞生關係職員增加配置の件
一、地方衞生機關の充實に關する件
一、屠畜檢查員の登用資格、その配置に關する件
一、警察衞生擔當者增配の件
一、家畜傳染病防疫事務を警務廳主官とされたき件
一、滿洲衞生技術員を衞生技術廳に於て養成の件
一、公醫規則改正の件
一、公醫費縣支辨に關する件
一、地方に衞生研究機關設置の件
一、ラマ醫法を至急發布されたき件
一、牛乳營業取締
一、海港檢疫と河川檢疫に關する件
一、醫療類似行爲者取扱に關する件
一、漢藥分類に關する件
一、施療施藥機關の活動に關する件
一、阿片零賣所に關する件
一、結核療養所の設置に關する件
一、克山地方不明病の分布狀況調查に關する件
一、カシベック氏病發生地帶には日本移民を移殖せざるやう關係當局に進言し度き件
一、衞生思想の向上策普及策に關する件
一、行路病者取扱に關する件
一、警察衞生機能充實の件
一、阿片法の精神を一層徹底せしむる件

東三條以東埋立地 貸付申込受付

來る廿五日から事務局で

滿鐵新京附屬地頭道溝東三條通以東日本橋通間の埋立地の貸付は三十五日から事務局地方課土地係に於て申込受付を開始することゝなつた、貸付地域は日本橋通一部、入船町四丁目、梅ケ枝町四丁目で同區域は全部商業地域として貸付けるものである

親子丼を種に 釣錢詐欺

つるや食堂御難

二十日午後八時半頃祝町三丁目ツルヤ食堂に一支那人が來て親子丼三個を注文し支拂ふ金が十圓札だから釣錢をもつて日本橋通り七十二番地へ配達してくれと云つて歸つた、つるやでは注文品をもつて屆けに行くと同番地尹某の家の前で件の男は釣錢八圓八十錢を受け取り何處かへ姿を晦してしまつたのでさては詐欺にかゝつたかと新京署へ願ひ出た

これは僞刑事

京鐵道生れ陳泰山が二十日安東に行くべく新京驛に至り三等待合で午後十一時五十分の列車を待つて居るとカーキ色の服を來た牛島人が「俺は新京署の刑事だがちよつと調べることがあるから、來て與れ」と和泉町ガード脇の飲食店に連れ込み所持品を檢查すると云つて懷中を探し黑革製三圓九十錢在中の財布を取り一寸待つて居れと云ひのこして外へ出たまゝ歸らんので、これは變だと新京署へ屆け出た

竊盜犯捕はる

二十日午後三時頃祝町三丁目路上で財前刑事が擧動の怪しい男を發見本署に連行取調べたところ青森縣下北郡傳法敬彥(二十六)で十六日午後三時頃朝日通第五錦ビルに侵入五十二號室の國頭喜治君が入浴不在中を奇貨としレオーバーと腕時計價八十圓外數點を竊取したことを自白した

商業學校の 及落會議

新京商業學校では卒業證書授與式をあと四日に控へて十九日までに第五學年の卒業試驗を終了し、各科擔任教諭は徹宵で採點をとり二十日午後四時までに學校長に成績表を提出した上、同五時から會議室において五年生の及落會議を開き五年生八十八名の學力、操行、思想その他一人々々について細密に討議し、及落を決定する……滿鐵總裁賞は果して誰の手に渡るか?この榮光への道を開く鍵が固くかけられた會議室には深宵なほ光々と電燈が灯され前後四時間半、午後九時半漸く閉會したなほ仄聞するに在籍八十八名中一名の落第生もないものらしい

軍犬協會支部 常任幹事會

滿洲軍用犬協會新京支部第一回常任幹事會は二十四日午後六時三十分から新京記念公會堂で開催左の件につき協議する

一、支部十二年度豫算變更の件二、支部總會招集に關する件三、協會役員推薦に關する件四、特別會員推薦に關する件五、登錄犬審查日時決定の件六、月別行事實行打合せに關する件七、陸軍記念日催しに關する件八、會員犬相互種付實施方法に關する件九、支部資產並備品現在調查報告十、其他重要協議事項

川人特務科長 廿四日歸任

警務權修讓の準備要務を帶びて朝鮮總督府及鮮內主要官衙との事務連絡に出張中の警務司川人特務科長は廿四日歸京の豫定である

兼井鴻臣氏を 中心の座談會

「滿洲に在り」の著者大日本富容會長月心居士、兼井鴻臣氏は自己の體驗より歸納した清濁併吞、物心併進一如を唱導しつゝあるが明廿二日午後七時より新京ヤマトホテル二階會議室に於て兼井氏を中心として座談會を開催する一般市民の來會を希望するの由因に兼井氏は同夜十二時發列車にてハルビンに向ふ豫定

稻村參謀講演

滿鐵社員會主催第二回社員特別講座講師關東軍參謀副長今村均少將とあるは新聞班長稻村參謀の誤りにつき訂正

山口夫人葬儀

錦町三丁目七番地山口正太氏夫人キノさんの葬儀は二十二日午後四時東本願寺にて執行される

あす(二十一日)

▲訪日宣詔記念建造物圖案展 ニツケ二階 ▲陸軍記念日行事打合せ會、午後二時、滿鐵事務局會議室

今晩の主なる演藝放送

▲八・〇〇尺八「俗曲吹寄せ」(名古屋)加藤溪水 ▲八・一五長唄「連獅子」(東京)杵屋六左衞門 ▲八・四〇琵琶「小敦盛」(東京)濱田晃臺 ▲九・〇五軍歌三夜第一夜「明治大正の軍歌」(大阪)大阪放送合唱團 ▲一〇・〇〇滿鮮交換放送「蒙古音樂」蒙政部蒙古音樂研究會

新映畫評　松竹大船作品
〝花籠の歌〟

◇…市井の(銀座京橋附近)さゝやかなトンカツ屋「みなと」の一人娘洋子(田中絹代)と、この店のよきお得意さんである大學生小野(佐野周二)との交情を主軸に、船員上りのこの店の主人敬造(河村黎吉)、洋子に遣瀬ない片想ひを抱いてゐるコックの李さん(徳大寺伸)、小野の親友で坊主の堀田(笠智衆)、更にコックの李さんに熱烈な想ひを捧げてゐる女中のおてる(出雲八重子)、等を配して綾とる都會人の生活の斷面、これと言つた劇的ストオリイを持たないが、映畫的ォーカムを各所に盛りんだ寫實風な淡彩なタッチ、五所平之助の巧緻を極めた作品である。

◇…都會の空氣に住みなれた人達の複雜微妙な感情、それは日々の茶飯事に交はされる言葉や動きからも絶えず色んな雰圍氣をかたち造つて現はれて來るであう、喜びや悲しみ、或ひはそれらの交錯したものが、更に強弱の度合ひを加へつゝ、われ〲日常の感情の主體をとらへてゐるのである、コックの李さんは常に洋子の一擧一動から、時に喜びを時には不安を覺えつゝ淡い希望を捨てずに働き續けるであらうし、洋子は洋子でひたすらに小野のことを想い續けてゐるであらう、そしておてるはおてるで李さんの氣持を知りつゝ李さんを愛さずにはゐられない、迎へる日毎の生活の些細な端にも意識せずにこびりついてゐるそれらのものが、こゝでは全ての演出の對象である。

◇…都會人の生活の理肌が日常にあるとするなら、われ〲は平凡なるべき周圍を凝視しなければならぬ、そしてこの凝視の度合ひ作家的態度(人生觀)によつて決定さるべきものであらう、「人生のお荷物」以來の五所平之助の方向が好意をもつてとり揚げられるのは彼の作家的態度の良さゆえである、幾分詠嘆調の嫌ひがあると言はれるが笑ひと哀愁をとほして、希望を捨てゐないのは嬉しい態度である、「四年後のオリムピック」に外人相手のスキヤキ屋をやるのだと希望を繋いでゐる敬造のさゝやかな氣焔に合せて、小野の買つて來た大きなキャベツを抱く洋子の姿に、生れ出ずべき新しい生命を通想さしてゐるのも微笑しい光景である。

◇…役々では田中絹代、河村黎吉、徳大寺伸、笠智衆など好演技である、笠智衆の大學生の生ぐさ坊主は新機軸であらう、佐野周二も悪い出來ではないが、これは主として指導の良さに歸するであらう、脇役の岡村文子、谷麗光も相應しい演技、他に齋藤達雄、大山健二、近衛敏明、新井淳などがちよつぴり顏を出すなどもキャストとしては贅澤なものであらう。大船最近の佳作である。長春座上映中(N生)

ミツシヤ・エルマンの日本初演の思出
(2)▽…牛山充氏の話から

エルマンの來朝は此直後で極東樂界を完全に征服し常勝の凱旋將軍として太平洋上の客となつたシコラと新に東洋の新戰場に出陣しやうとする意氣に燃へたエルマンの乘船は〇漫たる洋上で行きあつたわけである、エルマンが横濱に着いたのは二月十二三日頃で演奏會に十六、十七、十八十九、二十日と五夜連續して西洋風の八時から帝國劇場で開催された、歐洲大戰直後我經濟界の好況時代とて入場料は特等席十五圓、一等十二圓、二等八圓、三等四圓、四等二圓で我々貧しい音樂學生は此四等二圓の切符を買ふために數時間前から帝劇の切符賣場の前に行列をつくつて待ち開場と同時に下駄や靴を新聞紙に包へて南側の四等席入口から三階を目がけて馳け上り先を爭つて正面の要害の場所を占領し寄席のやうな煎餅蒲團の上に胡座をかいて演奏の始るのをしびれを切らして待つたのである。

×　×

第一夜の曲目は一、ヴイヴアルデイの協奏曲二、ラーロの西班牙交響曲三、ヴイーニアフスキーのファウスト幻想曲四、イ、シユーバート・ウイルヘルミの「アヴエ・マリア」ロ、ベートーヴエン、エルマンのコントルダンス、ハ、シヨパンの夜想曲變ホ調、最後に待望のチゴイネルヴアイゼンであつた、ヴイヴアルデイの協奏典では流石に音樂通を以て任じる特等席や一等二等のブルジヨア聽衆もこれが世界的の名人かといふやうな顏をしてゐたが第二のラーロ、第三のヴイーニアフスキーと進むに從つて三階の貧乏音樂生の席が湧き出して來るのにつれて湧き立ち最後の「チゴイネルヴアイゼン」に至るや滿場割れるやうな大喝采に風采のあまり上らないエルマンも伴奏のレッサーと共に頭から輝きを發するかと思はれるやうに拍手で舞台へ呼び戻された我々三階席を占領してゐるものは二圓の入場料を出來るだけ有効にするためアンコール目あてに急霰のやうな拍手を送り氣前よくエルマンが再び愛器を肩にするのを見て片唾を呑んだものであつた。

×　×

エルマンは音色の美しさで有名で「エルマン・トーン」と云はれる程甘美な音の持主である、從つて曲目のたて方が彼獨得の見識を示し音樂的價値の高いもの、技巧を主とするもの、音色の美に力點を置くものと大體三種類の名作を各曲目を適宜とり合せ其の間に古典、浪漫、又は各國民的の變つた曲を鹽梅してあらゆる角度から聽衆の種々異る好尚を充たすやうに苦慮してゐる『クロイツェル・ソナタ』は音樂的價値でバガニーニは技巧的ヴヰルトウオシテに於てマスネーは音色の美の表示に於て各の選ばれたもので此第五夜の曲目によつて當夜帝劇を充たした聽衆は完全にエルマンの神技の征服に身を任せて了つた。

○——○

以上は牛山立氏の十七年前エルマン來朝當時回顧の斷片であるが、當時エルマンの神技にうたれたものも新京には相當ゐるであらうが、二十七日には再びその神技に接して感慨深いものがあるであらう。

『勤王田舍侍』に野淵監督凝る

新興京都陽春大作『勤王田舍侍』は久々野淵昶の溌剌たるメガフホンの下に大友柳太郎、市川男女之助、山田五十鈴三大スター初顏合せと云ふベストスタッフを得て鋭意完成を急いでゐるが、此一作に精魂を傾けてゐる野淵監督は先にステージに二條城の豪華セットを組んで所内にセンセーションを惹起したが、今度は東山卅六峯は勿論の事清水寺、八阪神社等ミニチュアと本セットをうまく連關させて文字通り維新當時の京洛を一眸に收める雄大セットを第一、二、三ステージぶち抜きで作つてクレーンや移動車で京都中を飛び廻る樣なスピーディ撮影を行ひ亦エキストラ合せて五百名からなる維新當時の兵士の大調練場撮影を敢行當時の錦旗行進繪卷を再現する等映畫界空前の雄大なるスケールを以て順調なるクランク進捗振りを見せてゐる

雜音

長春座初日は順調な入りを見せる「花籠の歌」か、なり高度な狙ひをもつたものであり乍ら一般にも受けてゐるやうである▼朝日座にけふから「極樂槍騎兵」が登場する、帝キネの新作「双兒合戰」の方に意識的に對抗したものであらうが、一番線をかけてゐる帝都にはちと具合の悪いものがあらう、抜け目のない戰法を講じたものである▼公會堂の「女五九郎劇」簡易保險とタイアップで久方振りに賑ひを呼ぶ、けふ日曜日で打あげ、日取りも悪くはなかつたやうだ

サボテン

モンテカルロー階下のカフエーの方の話▼此處に東京から來た「疆」といふ子がゐて言ふことに「あたし彼氏をこさへても決して尻尾をつかまれるやうなことはしないわ」と▼なんだか尻尾みたいなものでもありそうな言ひ方だが、それは一つの表現法なのであらう、それにしてもこれは當世娘氣質の片鱗か、サムライ側もこれに應ずる構へが要るわけではある!

月曜　庚辰　赤口　滿　畢宿　舊正月十二日　二月二十二日

●一白の人　進退に窮する日　辰と巽と辛が吉
●二黑の人　諸事均衡を失はんとする日常業に安んじ吉　丁と亥と寅が吉
●三碧の人　希望も計畫も破壞せらるゝ日輕動を戒しむ　乙と丙と壬が吉
●四緑の人　失ふ所多くして得る所少なし冗費を警しむ　丙と壬と癸が吉
●五黃の人　進軍すれば死屍累々の狀を呈す守備が安全　丁と辛と戌が吉
●六白の人　期せずして萬事展開すべき幸運日利福あり　辛と壬と丑が吉
●七赤の人　地位に安んじ分限を知らば益々好轉する日　辛と乾と壬が吉
●八白の人　山又山を越え來り終に人里に出でたる如し　丁と未と庚が吉
●九紫の人　氣運旺盛にして過ちなきも勢に任すは不可　甲と丁と未が吉

（大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可）

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓
廣告料金 普通一行 壹圓五拾錢 特別一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用 ③三二〇五 營業局專用 ③三二〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

國民大會召集期日は十一月十二日と決定

汪氏宣言に聯ソ容共派激昂

三中全會六次大會へ

【南京廿日發國通】三中全會は廿日午前九時より第五次大會を擧行、執行委員汪精衛氏、監察委員林森氏等百七十五名出席、汪氏主席となり大會宣言、國民大會召集期日等の重要議案を討論し、國民大會は今年十一月十二日召集と決定したが、大會宣言中には汪精衛氏の持論たる共產黨乃至人民戰線排擊を强調する思想が盛られてゐるので、俄然聯ソ容共派の猛烈なる論戰を呼起し、左右兩派の論爭つきず非常に緊張せる場面を現出せる模樣で、つひに廿一日午後三時より更に第六次大會を開いて討議を續行することゝなつた、かくて本日閉幕を豫想されてゐた三中全會は波瀾により廿一日に持越される事となつたが、第六次大會においても左右兩派の間に白熱した論議が交されるものと豫想される、廿一日の第五次大會において主席團より提出し決議された國民大會召集案の內容はつぎの如くである

一、管轄機關を督促し引續き選擧を施行の上今年十一月十二日國民大會を召集し憲法を制定しかつ憲法の施行期日を定む

二、國民大會組織法および施行法に關し申請の個所ある際は常務委員にこれが辨理の權を與へる

三、國民大會に關する提案は悉く常務委員會に交附して參考に資す

大會宣言を討議

國民黨の進路を決定

【南京廿一日發國通】三中全會は廿一日午後三時よりさらに第六次大會を開催するに決した、本日の大會においては昨日審議未了となつた大會宣言が討議されるとゝもに主席團より赤化防止の法案その他の重要提案が行はれる模樣で、右第六次大會にて國民黨今後の進路を決定する重要意義をもつものとして注視される、尚大會宣言の草案は七八千語を連ねた頗る長文のもので、その內容は三民主義に從つて民族、民權、民主の三部に分たれ、つぎの趣旨がもられてゐるといはれる

一、民族　對外政策の確立
二、民權　憲政を實行し掃匪軍を自力をもつて完成
三、民主　國力を充實するとゝもに經濟建設に努力す

興安西省縣旗長會議

三月五日開催

興安西省では來月五日より九日迄の五日間省公署において縣旗長ならびに參事官警察官の事務打合會議を開催の豫定であるが、同會議においては縣旗側の管內情況報告、提案說明、省公署側の諮問事項に對する咨申あるはずであるが省公署側諮問事項は左の如くである

縣旗長會議諮問事項

一、旗縣職員の素質向上に對する具體的方策如何
一、前會議において協議せる務國克辨法に對するその後の意見如何、ならびにその經費について
一、地方產業開發振興上緊急を要する方策如何
一、地方農牧村における協同組織採用を促進せしむる方策如何
一、ラマ教改善に對する方策如何
一、滿蒙系警察官吏採用について優良者を選拔する方策如何

參事官事務打合會議諮問事項

一、宣撫に關し今後とるべき方策並にこれが方策如何
一、經理事務改善に關する施設事項如何
一、新稅法の地方經濟に及ぼし又は及ぼすべき影響如何
一、社會教育促進に對する方策如何
一、地方における燃料補給上有效適切なる方策如何
一、本省と西部內蒙古との交易關係を圓滑ならしむる具體的方策如何
一、今後縣旗警察員の增員を要するや其程度如何

助成金の通過確實で各社で造船計畫

海運界、一段の活況を加ふ！

【東京國通】海運國策豫算は優秀船舶助成費四十四萬圓、航海助成費百十二萬九千圓とそれぞれ修正の上議會に提出されその通過もいよいよ確實視されるに至つたので、海運界は同豫算實施を目當に一段と擴充發展計畫がめぐらされ頗る活況を呈してゐる、すなはち優秀船建造に就ては客船五十萬噸、貨物船十七萬噸を助成する事になつてゐるが有力船主はいづれも右助成金を目當に競つて新船建造計畫を樹立し、貨物船については一萬噸乃至七、八千噸級最優秀船型で速力十九乃至二十節のものゝ建造申込みが既に十五、六隻約十五萬噸に達し、旅客船については郵船により一萬六千噸級の歐洲航路就航船をはじめ商船その他の建造船總計十四隻におよぶ盛況である

滿鐵の手で、熱河省に採金會社を設立

近く具体的方針決定

【東京國通】滿鐵ではかねて滿洲の產金事業の發展に努力しつゝあり、既に產金五ケ年計畫を樹てゝゐたが今回左の要綱により熱河省に採金會社を設立することになり、近く重役會を開いて最後の具體的方針を決定し實行にとりかゝることゝなつた、これは交通難および匪賊關係もあり、經濟的になかなか進展しなかつた滿洲產金事業の一進展として注目される

一、名稱　滿洲鑛業會社
一、資本金　一千萬圓
一、年產　三百萬圓の採金を目標に積極的に行ふこと

中等學校教科書編纂に着手

【奉天國通】去る十八日來奉した都富文教部學務司長は廿一日午後二時四十七分發「あじあ」で新京に歸任したが、同氏は滯奉中奉天高等農林學校々長宇田博士、堀第一工科、岡田第二工科、伊藤商科高級、矢野農科高級の各副校長を招致し、中等學校選定教科書編纂に關し打合せをなしたが、編纂を委囑された各氏は直ちにこれが編纂に着手し六月卅日までに起草完了し教科書編纂委員會に提出するに決定、右教科書は農業、商業、工業に關するもので、滿洲國建國の根本精神を充分加味したものである

獨外相納維訪問

【ベルリン廿日發國通】ドイツ外相ノイラート男は廿一日ベルリン出發、廿二日ウヰーンに到着の上オーストリア政府當局と懇談をとげるが、特に一九三六年七月十一日の獨墺協定に基きゲルマン民族國家の融和關係强化につき意見を交換するものとみられる、但し政府筋では文化交驩および經濟提携問題以外格別の政治的意義はないと稱してゐる

總務廳の設置は今年中に實現の運び

【東京國通】林內閣の政綱政策は抽象的に過ぎてその指導精神を明瞭にするを得なかつたが、過去一週間における本會議豫算總會席上で行つた首相、藏相の答辯によつて現內閣の抱懷する庶政一新の內容は結局國防の充實およびこれを實現するため金融機關總動員による生產力の擴充をもつてその最大使命となすものであることが漸次明確にされたので注目されてゐる、しかして右の目的を最も有效に達成するためには各省の統一をはかつて綜合的行政を行ふ必要があるとの見地から行政各部の統合をなすべき中心機關を設置する必要あることを林首相も言明してゐるので、前內閣以來の懸案たる總務廳の設置は議會終了後遲くも今年中には實現の運びに至らしめる方針のやうである、たゞしかし省の廢合については必ずしも非常な無理をしてまでも斷行するほどの必要性を認めてゐない模樣である、その代り總務廳の機能を强化しその長官にも相當の大物を充てゝ强力なる綜合的行政の實現を期せんとする模樣である

帝燃法案改めて議會に提出か

拂込期間は更に延長

【東京國通】燃料國策の根幹をなす帝國燃料工業會社法は豫算編成に當つて資本金一億圓中初年度政府出資一千二百五十萬圓が削除された結果、法案そのものも提案を見合せることになつたが、燃料國策遂行上重大問題なりとして衆議院でも論議されたゝめ伍堂商相は當初慨いてゐた興銀資本の動員を斷念し改めて帝燃法案を原案のまゝ議會に提出することゝなつた模樣である

しかして政府出資については最初の計畫によれば、帝燃會社資本金一億圓（官民折半出資）を三ケ年間に全額拂込みの豫定であつたが、財源難の折柄でもあるので拂込期間をさらに五年乃至七年に延長するものとみられてゐる

議院法改正法案

今議會提案に決定

【東京國通】議會の豫算審査期間延長ならびに召集公布期間の改正等を含む議院法正案は臨時議會問題にからんでゐるため政黨としてはこれを急いで今議會に提出する必要を認めず態度を曖昧に濁してゐたが、廿日衆議院各派交渉會で今議會提案を要求するに決したので政府もこの意向を尊重し、今議會に提案するに決定した、よつて議會提案は樞府の諒解を求めたのち多分三月中旬になる見込みだが、政府はこれによつて來議會より審議期間の延長をはかるとゝもに懸案の十一月中旬召集を實現し、これと相俟つて來議會には充分革新政策實現を期することによつて議會召集拒否の不滿を制する方針と解される

電力國家管理案

けふ閣議で方針決定

【東京國通】議會々期の經過とゝもに電力國家管理案に對する政府の取扱方針につき各派とも深刻なる關心を持ち法案の重要性に鑑みこれが提否を未決のまゝ徒らに審議期間を空費すべからずとの建前から政府に對しその方針闡明を迫るべしとの論が擡くなつて來たので、政府は廿二日の閣議で方針決定の上同日の豫算總會で質問があれば政府の態度を表明する筈である

貧鑛處理に力點

商相、三製鋼を督勵

【東京國通】貧鑛處理問題は議會における鐵鋼政策論及の中心點となつてゐるが、伍堂商相は昭和製鋼所在任當時よりこれに對し積極的見解を抱いてをり、商相就任後においても最もこれに力を注いでゐる、すなはち商相は茂山（朝鮮）、鞍山（滿洲國）の貧鑛處理、東北の砂鐵製錬等が成功すれば製鐵業界における革命的進步が招來されるものとみ、特に茂山の貧鑛處理については日鐵、三菱工業、昭和製鋼の三者が八百萬圓內外のホールデング・コンパニーを設立してクルップの直接製鋼法の特許權を買收することに話を進めさせる一方、前記三者を督勵して工業的實驗の促進をはかつてゐる、而してこれとならんで今議會に提出する製鐵事業法案中には貧鑛處理奬勵に關る規定すなはち貧鑛までは砂鐵を原料に使用する製鐵業者に對しては免稅の特點を與へるといふ一項目を加へることに決定してをり、鐵鋼政策に關しては小川前商相時代より一步前進を示したものといへやう

第二回移動日滿展に民政部資料蒐集

日滿親善は文化からの意味で相互に文化の紹介を行ひ、わけても兒童の對滿認識を深めるために努力をつゞけてゐる北日本文化協會では昨年「第一回移動日滿兒童交驩展覽會」を開催、日滿童心の堅き連鎖に成功し多大の成果をおさめ各方面から注目されてゐるが、今回これが第二回移動日滿展覽會を來る四月一日から開催する事になり、民政部總務司資料科に各種展覽物資料の寄贈方を申込んで來たのに對し、民政部では資料蒐集に努める筈である、ちなみに申込資料要項は左の如し

一、民政部發行教化、訓民、布告に關するポスター又は令書の類、特に建國當時の令書、布告類の殘存せるもの
二、協和會の關係資料ならびに同會宣傳ポスター類
三、その他民政部發行印刷類で篤志者に閲覽せしむべき資料
四、滿洲國事情を直截的に兒童に紹介し得可き揭額用の寫眞又は繪畫の類
五、其他適當と認めらるゝ物

ハヴアスのデマ

紐育・タイムス記者を走らす

哈爾濱附近で國際列車が匪賊に襲擊され外人廿餘名が拉致されたとのハヴアス通信社のデマは各方面にセンセーションを起してゐるものとみえて奉天在住のニユーヨーク・タイムス通信員ミチエル氏の許へ本社から至急調査報告方電報して來たので同氏は、廿日夜奉天出發、廿一日新京に來り外交部に聞合せた結果、該報道が全くデマであることを確め、直ちにその旨本社へ電報した外交部では同氏の迅速なる措置を多としてゐる

けふの兩院

【東京國通】廿二日の兩院議事日程は左の通り

▲貴族院　午前十時本會議を開き酒造組合法中改正法律案を上程特別委員附託とした後國務大臣の演說に對する質疑を續行、大河內輝耕子（研究）の質疑を行ひまた午前十時から特別委員會を開く

▲衆議院　本會議は休み、午前十時から豫算總會を開き牧野良三君（政友）の司法制度の刷新と人權蹂躪問題に關する質疑が行はれるほか關稅改正法委員會および決算委員會が開かれる

明日八島小學校長歸京

約三週間に亘つて裏日本から東京、名古屋、京都、大阪各都市における小學校教育施設視察のため旅行中であつた八島小學校長明日勝氏は廿一日午後三時着列車で歸任したが同氏は驛頭で左の如く語る

內地は雨が多くて切角北陸の雪、多期の學校教育を見にいつたが殆ど雪は見れなかつた、たゞ雪の名所高田市でスキーをみたがよく普及されて小學に入つてゐない小さな子供に明朗に滑つてゐたのは頼母しく思つた、東京に四日間、議會を是非傍聽しやうと思つてゐたが停會つゞきで一日も傍聽出來ず殘念であつた、一般農村はいつも米の收穫後に米の値が昇るのに昨年は收穫前に騰つて思つたより好景氣のやうに見へた、物價上りで惱まされてゐる一部サラリーマンも多かつたやうだ、內地の小學校といへば滿洲に比べて非常に落ついてゐるのに驚いた、例へば京都七條小學校長などは京大出身で十數年同校に續けて勤められただけに落つきを見せてゐる東京で照宮殿下を始め各宮樣方が合同體操をやつていらしやつた時間に親しく拜謁の榮に浴したが他の兒童と御同樣に御質素で御活潑に體操してゐらつしやつたのに感激しました、特に教育方針施設上で感じたことは郷土教育、養護施設の點で、郷土教育は山梨師範學校が最も熱心に研究して、凡て郷土を如何にして生かすかといふ點に重點をおき、單に郷土の歷史、地理を研究するだけでなく郷土の實際生活に即した研究を續けてゐる、養護室の如きは千葉縣のある學校を縣赤十字社支部でやつて相當實績を擧げてゐた、滿洲の如く體の弱い兒童の多い滿洲でも出來れば滿鐵あたりで海濱學校でも作つて欲しいものと考へさせられた

人事往來

▲前山三郎氏（東京女學院）二十一日中央ホテル
▲松谷博次氏（同）同
▲中島勇一氏（記者）同
▲沖津良郎氏（綏芬河領事）同
▲水內忠氏（會社員）同

信話

日本の對支外交の失敗はあまりにも中央が▼支那を知らな過ぎるからだといふことをちよいく聞かされるが▼今度十一年間の支那生活から駐米大使館參事官となり▼太平洋を渡つて米國に赴くことゝなつた須磨彌吉氏の話を聞いて▼成程と首肯かされることが多々ある▼同氏は外交官としてよりも個人の須磨として現代支那の代表的人物には悉く接しており▼その交際の如き表面は外交官としての須磨の生命を狙ふが如き者でも▼個人的には肝膽相照らし兄弟もたゞならぬ親交が續けられてゐたと云ふ▼その須磨氏が中央からの訓令を突きつけて〃これを承認しろ〃といふ時の心中には堪へ難いものがあつたであらう▼同氏が〃外交官の悲劇は交渉の行詰つたときほど大きなことはない〃とほかしてゐるが▼その言葉の中には大きな意味が含まれてゐるやうに思はれる▼支那に對する英、米の策動はいよいよ露骨に動きつゝある秋▼日本の對支外交も何とか考へ直さねば重大結果を招くやうなことになりはせぬか

躍進途上の滿洲國 第二期五ヶ年計畫展望（三）

日滿經濟ブロックの鞏化

建設諸計畫の要綱

第二期積極的建設工作の方向は本年度の豫算編成の方針に明確にあらはれてゐる、即ち從來の財政健全方針より一歩を進め合理的積極主義を以て編成し、もつて各部門における第二期建設工作遂行の基礎を造成するを目途とし、國家經營の有機的效率的運營を期すると共に國際環境の現狀に鑑み非常時局に對處すべき財政の强靭性を保有せしむることを意圖したものである

更になほ簡單に說明すれば經費については一般行政費は極力その膨脹を避け、國民生活の安定向上の爲の經費は積極的方針に基き國家財政全體の健實性を害せざる範圍において、可能の限り多額の經費を計上し、經濟產業の開發に要する經費は積極的に財源を公債に求めてこれを充足した

歲入については財政の彈力性を涵養するため內國稅關稅および官業の全般にわたり體系ならびに機構を整へた

しかして全體的國家的國家經營の有機的效率化を期するため國家中央財政と地方財政との一體的調整合理化をはかる等の考慮をはらつたものである

□

民政部所管の事業も積極的方針の國策の線に沿ふて積極化され、第二期五箇年計畫の初年度たる本年の計畫は次の諸點に重點を指向してゐる

一、治安不良地區の徹底的肅淸と復興工作
二、治安良好地區に對する行政の浸透ならびに建設諸工作の徹底街村育成改良工作
三、日本內地人移民施設
四、土木行政および土木工事の圓滿なる施行
五、地方費の設定による國および地方財政の兩者間の調査

（一）治安不良地區に對する施設

治安の維持確保を第一主義とし治標、治本的諸工作を實施し政治ならびに思想匪未だ根絶し得ざる地區に根本的對策を施すことを急務としこれに必要なる諸工作諸施設等の擴充鞏化を計る

（二）街村育成工作

舊政權時代における行政は單なる搾取手段に過ず、正しき意味の行政運用なく、從つて民衆の利益と行政と全く背離の狀態にありたることは國民自身の最もよくこれを知るところ、過去におけるこの惡印象が如何に深刻に今日の民政に影響しつゝあるか、蓋し思半に過ぎるものがあらうかゝる意味において行政を正しく運用し直ちに民衆生活の安定のために諸施設をなすはわが國刻下の急務である

この目的の下に治安不良地區には治安諸工作を浸透せしめ、治安良好の地區には文化諸工作を實施し、行政の末端が縣であつたものを更に街村にいたらしめ自然發生的集團社會より近代的協同體に再編成すると共に經濟的行政的活用を圓滑ならしむるにあり、この目的を達成するため滿洲を中心に七十縣下の街村約三、〇〇〇個所を目標に新に優秀なる指導工作を配置し、縣長、參事官を中心に警務指導官、產業技士、視學等と協力し協同體たる街村の中心人物の養成を始め行政活動、經濟活動、保甲活動の指導、民衆負擔の是正、街村費の活用を圖ることゝなつた

（三）移民に對する施設

日滿兩國の國策たる二十ヶ年百萬戶五百萬人日本內地人滿洲移住方針に對應するため入植地の選定および補導施設の充實擴張を計る

（四）土木行政機構の統一

從來の民政部土木司と國務院直屬の國道局との統合についてかねて考究中であつたが本年度から兩者を合併統一、民政部の外局として土木局を設け土木行政土木工事にあたることになつた

（五）省地方費の設定

新しく本年より省地方費を設定、法人營業稅附加稅以下の固有財源を與ふるとゝもに所要の補給金を與へ、その獨自の運用により從來國費をもつて直接施行せる警察、衞生、土木、教育、勸業、社會等の行政の一部乃至大部を實施せしむるとゝもに縣市財政の調整等に相當程度の獨立權限を認め各省特殊の事情に即應する行政を行はしめんとするものである

產業開發を所管する實業部および蒙政部ではそれぞれ產業五ヶ年計畫を立案し本年度より第一歩を踏み出してゐる

右計畫の大觀は前述した通りであるが、鑛工業部門にあつては日滿兩國の鐵鋼の自給自足を目途に現在の機能の可能なる擴張と新資源の開發に努め、液體燃料については積極的方策を樹てゐる

產業開發に伴ふ動力に關して從來の火力發電の外に水力發電所の新設を計畫し成案を得た、其他機械工業、化學工業等に重點を置いてゐる、農產部門および畜產部門においても前述の如く劃期的躍進をめざして邁進してゐる

農產および畜產部門については蒙政部は實業部と相聯繫し原始的生產組織より近代的生產組織に再編成すべくそれぞれ蒙古農業開發計畫を樹て本年度より實施することになつた、右の增產および獎勵方法としては

イ、共同部落の設置
ロ、指定部落の設置
ハ、指定組織の充實
ニ、開發獎勵方法
ホ、基本施設の整備

蒙古人の生活資源である緬羊の改良增殖のため現在蒙古在來種二百萬頭を改良增殖し五箇年後管內蒙古在來種および新種以上合計二百七十四萬頭と二百九十八萬トンの羊毛を生產する方針である

▽……和やかな滿人街風景……△

本溪湖石灰の合同具體化す

日東公司に事務所設置

既報、在新京石灰販賣業者中和公司、本溪湖石灰公司、日東公司、美富號の合同問題はかねて當事者間に於て協議中であつたが、愈々議一決して合同に決定、本溪湖石灰聯合會新京出張所と名乘りを上げ事務所を吉野町五丁目日東公司に設置し中和公司野口政策氏代表者として三月一日より營業を開始することになつたこゝに於て本溪湖品の販賣は新京では獨占化されることになつた譯である、尙同社の本年度販賣値は新京驛渡一貨車に付生石灰五百二十七圓、二分目風化四百二十圓、五厘目風化四百八十圓、三厘目風化五百二十圓、昨年よりも約一割の値上りである

滿洲觀光聯盟

廿六日役員を決定

【奉天國通】全滿各地の觀光協會統制機關として新設された滿洲觀光聯盟では、來る廿六日新京で開催される觀光委員會において宇佐美理事以下評議員、幹事等の役員を正式に決定し陣容を整備するとゝもに各地觀光協會の本年度事業計畫に檢討統制を行ひ、確立された指導方針のもとに積極的活動を開始する筈であるが、本年度より既設の大連、旅順、安東、奉天、承德、新京、吉林の各觀光協會のほかに國際都市哈爾濱にも觀光協會を設立し聯盟に加入せしめるほか橋頭、鐵嶺、大石橋等の景勝委員會にも呼びかけて全滿景勝地開發宣傳に積極的援助を與へる筈である

特產輸出不振で

社線收入減

【大連國通】十一年度滿鐵社線鐵道收入は豫想外に振はず更生營業收支豫算收入一億三千七百八十萬圓、支出五千百廿九萬圓、差引益金八千六百五十萬圓に對し十一年度は決算見込益金八千百二萬圓と五百四十八萬圓の減少となつたこれが最大の原因は特產の輸出不振による輸送量の減少である、十一年度中特產の北鮮經由輸出が激增し本年度豫想の二倍に達したことが社線收入に影響したものである

外務辭令

【東京國通】

外務事務官　島津久大
任大使館三等書記官兼副領事中華民國（天津）在勤を命ず

領事（天津）　奧村勝藏
南京在勤を命ず

內閣書記官長　大橋八郎
外務書記官　森島守人
對支文化事業調査會委員を命ず

大橋次長

訪歐の打合せ

【東京國通】ヨーロッパ視察を前に十九日東京についた滿洲國外交部次長大橋忠一氏は廿日午前十一時外務省に堀內次官、東郷歐亞局長を訪問打合せを行つた、大橋次長は來る廿五日午時十時東京驛出發敦賀經由ヨーロッパに向ひ、ソ聯、ドイツ、フランス、イタリー、イギリス等の各地を訪問し、滿洲國に對する認識を深からしめると共に親善關係確立をはかる筈であるが、滿洲國外交部責任者の外國派遣は最初のことであり、獨伊等に滿洲國承認氣運濃厚の際大橋次長のヨーロッパ訪問の成果はすこぶる期待されてゐる

パラシュートの降下塔設置

友廣宇內氏來京打合せ

航空滿洲の標識を高らかに揭げて航空常識の普及に邁進してゐる滿洲飛行協會では航空彩票の發行、パラシュート訓練の實施を計畫し、大橋會長の後任に皆川文教部總務司長を推すことに內定、陽春を俟つて華々しく積極的活動に乘出すことになつたが、グライダーの操縱に次で新規計畫のパラシュート降下訓練については協會、建設局と凝々協議のところ專門技術家の招聘を必要とし日本パラシュート技術員友廣宇內氏の渡滿を促し同氏は十九日來京した、パラシュート降下塔の設置場所、規模に就いては友廣氏の意見に從ひ建設されるが、同氏は廿一日淸水組を訪問、下打合せをなし廿三日中に具體的成案をみることになつた、國都の空にも華かなパラシュート降下の雄姿が見られる日も愈々近付いたわけである

新建された龍江省の集團部落數

【齊々哈爾國通】昨年度における龍江省內に建設せられた集團部落數左の如し

縣	部落數
龍江	三
富裕	一九
鎭東	一七
洮安	六
洮南	六〇二
贍楡	四
突泉	二八四
計	九二五

二月下旬の北國線貨物出廻り豫想

【奉天國通】社國線二月下旬の貨物出廻豫想左の如し

△標準軌線

舊正明けの特產狀況は滿人側の新春氣分未だ變らず奧地における持込みは困難を極めて旬の持込みに對してはいはゆる特產出廻旺盛の業績は大なる期待を望み得ないが、例年の舊節明け後はより推して本年は輸送順調で滯貨も殘存してゐないが奧地の手持品なほ豐富で、出荷に相當の彈力性を有してゐるが、海外の市價は依然として惡しく一般の買氣全く喪失してゐる

解氷期接近を思へば狀況如何に拘らず漸次荷動きが擡頭するものと思はれる、一方特產物の輸送軟化氣味あるに反し嚴寒結氷中に伐採地より鐵道沿線に搬出してあつた木材は解氷待望に加へ土建工事開始期を目睫に控へていよいよ荷動き旺盛である

石炭は地賣物未だ衰へず輸出炭また內地諸工業の活況に伴ひ引續き堅調で、一日平均發送換算車數は撫順九五五車、西安一一三車、北鮮線八七車、その他諸炭礦二〇八車總計一、四〇〇車に上る

△廣軌線

一般に木材薪炭類の荷動き引續き顯著であるが、本旬初めより更に牡丹江鐵路局管內發哈爾濱驛積替南滿方面行木材の大量輸送が開始される豫定である

公署用電氣通信施設に關する法令公布

交通部では去る十月八日公布した電氣通信法第五十二條「公署の事務執行のため使用する目的を以て施設する電氣通信施設に就ては別に勅令を以て定む」に基き公署用電氣通信施設に關する法令を作成し二十一日閣議に上程、三月上旬勅令を以て公布することになつた、同令は官廳事務例へば稅關港灣事務、水產指導事務、漁業監視事務、警察事務及刑事訴訟事務執行等を圓滑にするため特に官廳用電氣通信施設に特權を附與したもので十二條より成り、同法の公布によつて一般の電信電話又は電氣的施設との關係が調整され、國內における電信電話の統制が一段と强化される譯である

新京市民は肉がお好き

市民は肉がお好き、首都警察廳調査による康德三年度市內外の屠宰數は市內三萬二千百五十五頭、市外四萬二千二百二十七頭計、七萬四千三百八十二頭でこれを市內外合して獸類別に見ると猪の三萬三千七百六十三頭を筆頭に次の通りである

▲牛五千五百三十一頭▲馬騾六百二十四頭▲猪三萬三千七百六十三頭▲驢二百十二頭▲羊一萬二千百五十五頭

廣島物產見本市

廣島縣の對滿貿易振興のため新京に出張員を置いてゐるが今回各出張員主催、新京輸入組合、同貿易組合の後援で來る廿二、三の兩日中央通り輸入組合內で廣島物產見本展示會を開催することゝなつた、出品は製綿、ゴム工業、バーム工業、花莚、疊表等である

石村鐵道事務所長一行視察

石村奉天鐵道事務所長一行七名は十三年度事業豫算査定のため二十三日安奉線を振り出しに各線驛區に臨時列車で巡廻し來月五、六日頃新京に來京の豫定である

京商氷上軍

大連ホッケー競技へ出場

新京商業氷上軍は二十一日開催される大連氷上競技聯盟主催のアイスホッケー出場のため十九日午後十一時發列車で出發した

張吉鐵局長來京

吉林鐵路局長張恕氏は二十一日午前九時四十二分着列車で來京ヤマトホテルに投宿した

オルジョニキーゼ氏

【モスクワ十九日發國通】ソヴエイト重工業人民委員G・K・オルジョニキーゼ氏は十八日午後五時半クレムリンアパートに於て心臟麻痺で急逝した、享年五十、氏は十七歲で革命運動に從事し、數回の投獄、シベリア流刑、脫獄、亡命等革命家としての經路をたどつたのち、十月革命にはウクライナ、南ロシア、北コーカサス、特別委員會に乘込み赤軍を指導して獨軍ならびに反革命軍を擊退して以來、共產黨の要職を歷任、重工業人民委員會が設けられるや委員となり、五ヶ年計畫の中心となつて經濟上の經綸を遂行して來た黨內切つての經濟通として自他共に許されてゐた

天氣と氣溫

けふの天氣　東の風晴一時曇り
日の出　前七時二八分
日の入　後六時一七分
月の出　後八時九分
月の入　前五時一六分
きのふ氣溫　最高〇度四　最低零下二三度四

本社主催 第一回全新京かるた大會

大小天狗を一堂に 昨夜初の顏合せ

古典と近代的競技感織交ぜ 火花散る指頭の熱戰

國都のかるたファンを總動員した本社主催第一回全新京かるた大會は二十一日午後一時から曙町元びとのみち教會大廣間にていよ〳〵熱戰の幕を切つて落した、スポーツ精神を高唱した本大會によつて全滿洲に新かるた道を樹立せんとする意氣に燃えた參加選手は定刻前より續々會場に參集し總數四十一名の多數に上りさしも廣い教會大廣間を埋める、かくて定刻前五分佐野審判長のリードにより第一回練習開始せられるや大會氣分は益々濃厚になり參觀者中からもたまりかねて參加申込み者續出する、やがて第二回の練習を終り午後二時半本社上田代表の挨拶についで佐野審判長競技上の注意を與へていよ〳〵試合開始、甲、乙、丙、婦人の各組とも靜より動へ動より靜へ瞬間の機敏な耳、目手の火花散らす熱戰は開始せられた試合結果は次の通り（寫眞は火花散るす熱戰）

第一回豫選勝者

甲組

深澤好男（白露會）　山崎尊（電業）　文秀則（白露會）　吉野重一（同）　揚村省三（電々）　植木輝迪（同）　荻野友太郎（電業）　久保芳雄（同）

乙組

山田俊太郎（白露會）　平田雅二（同）　千野義人（無所屬）　谷岡郁（電々）

丙組

矢内楠次郎（白露會）　野中寅次郎（同）　千葉六郎（電々）　林利直（同）

婦人組

石田幸子（白露會）　橋本照子（同）　前島繁（滿鐵醫院）　山田信子（電々）　高須マサ（無所屬）　齋藤美沙子（滿鐵）

第二回豫選勝者

甲組

深澤好男（白露會）　山崎尊（電業）　文秀則（白露會）　清水武（同）　中山政繁（電々）　荻野友太郎（電業）　久保芳男（同）

乙組

平田雅二（白露會）　鵜殿長重（無所屬）　千野義人（同）　山元敬三（淺野物產）　大垣滿（電々）

丙組

山本重孝（白露會）　千葉六郎（電々）　山川憲（同）　林利直（同）

婦人組

石田幸子（白露會）　久米喜代子（同）　橋本照子（同）　宮本シズ子（同）　山田信子（電業）　岩井靜子（同）

遂にマイナスに訣別 きのふ零度四

昨年より廿日も早い溫かさ 公園にも千五百の人出

頬に受ける日射しは尙淡くはあるがうらゝかな陽光の條々とふりそそぐ廿一日は好適な日曜日和であつた、小刻みに、春への行進を奏でつゝあつた銀柱も今日は俄然奔騰してマイナスに訣別プラス零度四を示した、昨年の今日最高氣溫零下十度四で十度の開きを見せ、マイナスに訣別したのは三月十三日であつたことを見れば今年の溫かさは昨年に比し日數にして二十日を早め溫い哉—なる程とうなずかれる譯だ、長い蟄居生活にうづく身を心をもてあまし陽光を求める人々は銀柱の奔騰を知るや知らざるはともあれ舖道に溢れて外套も身につかず潤歩するほほ笑ましい若い勇者の姿も見受けられた程、そして國都のオアシス西公園は千五百人の入場者を見て寥々たる孤獨に來る春を待つた動物群を喫驚せしめた

吉林のスキー大會も 陽氣でお流れ

吉林からの入電によれば切角の日曜で吉林のスキーヤーが本年最終のスキー・デーと待望してゐた二十一日は連日の陽氣で北山の雪は解けて仕舞ひとう〳〵スキーはお流れになつたと

土們嶺スキー大會 賑ひを呈す

本年掉尾のスキー大會は二十一日土們嶺で催されたが、土們嶺の雪は流石處女雪五寸餘りも積つて春の陽ざしはポカポカと投げられ、絕好のコンデーションに惠まれ盛會に行はれ一行三十名はきのふ終日白雪の魅力を滿喫して午後七時三十五分着列車で無事歸京した

物置きの窓から 深夜忍込む

二十日午前三時頃新發路二〇一、洋服商不二公司の宿直員が店内の妖しき物音に驚ろき起き上つて見ると元奉天同店々員竹内梅松（三〇）が忍び込んでゐるを發見、擧動不審の爲め詰問したが隙に乘じて無帽跣足のまゝ逃走してしまつた、竹内は同日晝頃同店を訪れた際物置の窓を開け置き眞夜中そこより店内に侵入し

煤煙防止委員會の 中銀分會も設立

協和會も全分會に組織準備 全機關〃煙匪〃掃蕩へ

二十日から施行された關東局煤煙防止規則の眞の目的を達成せしめるため新京煤煙防止委員會は過日幹事會を開き協議の結果一層内容を强化し積極的活動を開始することに決定したが中央銀行では既に委員會中銀分會を設け行員各自の煖房裝置の改善、燃燒の研究等をなすべく原案が作製されており滿洲國協和會首都本部でも管下五十三分會に各の分會を設け煤煙防止に乘り出すべく着々準備を進めてゐる模樣である、いづれ委員會として具體案決定次第國都各機關が細胞的に一齊に活動を開始し國都の空から煙匪が掃蕩されるであらう

女學生になれば

サア敷島か、錦ケ丘か どちらへ行きたい？

難題の通學區域決定

敷島、錦ケ丘兩高等女學校では既報の通り來年度入學生徒の共同募集を行つた結果二百九十名採用に對して四百四十九名の應募者が押し寄せ、これを來月二、三日の兩日に亘り考査を行ひ合格者を決定されるが、こゝに一つ學校當局で最も頭を惱まし、父兄でも氣に病んでゐることは、さて合格はしたもの、敷島、錦ケ丘兩校の通學區域が決定してゐないためこの子供はどちらに採るべきかといつた問題があり、敷島を中心に附屬地が人口稠密し、特別市は人口稀薄になつておりのみならず姉が敷島に在學中又は卒業生であるから妹も敷島に出したいといつたやうな色々な希望があり、これ等父兄、本人の希望に委せてゐると採用人員の多い錦ケ丘（百五十名）は敷島（百四十名）の半數にも達しない情態におかれてゐるのでこれが按配には當局でもほと〳〵弱り兩校協議の上研究中であるが大體の目安は考査の上合格者二百九十名を決定した上敷島を中心に地圖の上に圓形を描がき潤内の住者を敷島に他は錦ケ丘に振り當てられるものと見られ、右によると

敷島の分は西は花園町一丁目、東は東二條、大和通り、北は露月町南は北安路を境に以内は敷島となり、以外が錦ケ丘となる、小學校別にすると西廣場、室町出身の全部白菊、八島の一部が敷島となり白菊、八島の殘部と三笠、櫻木その他沿線他都市からの合格者が錦ケ丘になる

合格者發表は同時に兩學校別に決定した上發表するので二三日は發表が遲れるものとみられる、なほ附屬地内又は城内附近に居住しておりながら錦ケ丘に採用されたもので新京—南新京間汽車通學が便利なものが五十名以上に達すれば鐵道側で登校、下校時間に兩驛間に通學用輕油動車が運行されるので當該者は大いに安心して安價で通學出來る、なほ姉が敷島に在學中又は卒業生であるから敷島に入れて欲しい者はその旨一應考査前後までに敷島又は錦ケ丘まで申出づれば入學々校區分けに考慮されることになつてゐる

たもので金庫等に觸れあたりを物色した形跡があり一仕事をたくらんで侵入したものらしく、未然に發見され幸に被害はなかつた

養女、いぢめられ 遂に致死

小合隆署管内にまた〳〵若い養女の慘虐な殺人事件があり小合隆署に於てその親夫婦を檢擧取調べ中である、小合隆第四區祭貢窩棚門牌四百二十四農王中九（四十）及妻王牟氏（三十六）は將來は自分達の息子の嫁にしやうと鳳子（十五）を幼い時分貰ひ受け養育して來たが年頃になつて見ると最初の望みに添はず缺點だらけのところからそろ〳〵何かにつけて虐待を初め常の慘酷な繼子いぢめにる見ごとく夫婦共々でこれにつらく當り、常日頃口穢くのゝしつては丸太棒、燒火箸の類で慘虐の限りを盡して折檻してゐたところ、二十日午後三時三十分鳳子はこれが原因で遂に死亡してしまつたが燒け爛れた顏面、全身至る所の打撲傷等その死體は慘酷目を覆ふものがあり所轄署では滿洲國人間の惡風としてしば〳〵行はれるこの種犯罪だけに本廳と連絡を取り惡風一掃の見地から嚴重取調中である

依然、頻々と現はれる 僞造變造貨幣

僞造團伏在か 當局摘發に苦慮

最近市中に僞造變造貨幣が頻々と行使され當局では背後に大がゝりな貨幣僞造團が伏在するものとし摘發に懸命になつてゐるが、一月中に中央銀行が取扱つた僞造變造貨幣だけでも十圓券八枚、五圓券五枚、一圓券五枚、五角券七枚を數へ、何れも銀行、郵便局會社等の窓口で收受した巧妙なものでこの外未だ發見されず巷に行使されてゐるこの種僞造貨幣は無數に上るものと見て一般の注意を要望してゐる

商店協會の申出を 百貨店側婉曲に拒否

デパート新築問題

去る二十一日新京商店協會では百貨店の新築擴大計畫をもつて一般商店の死活問題であるとなし文書をもつて寶山百貨店に考慮を促す處あつたがこれに對し百貨店側が如何なる態度に出るかは商店協會を始めとし消費者たる一般市民にも密接なる利益關係ある事として成行を重視されてゐたが二十二日中には百貨店側の回答を爲す事となつた、仄聞するに回答内容は大體次の如き樣なものの如くである

商店協會側の御說はいちいち肯綮にあたる事で百貨店側としても充分に考慮し共倒れの樣な事のない樣に充分善處致さねばならないと考へる次第であるが寶山百貨店の新築は反つて三越の樣な内地大資本の國都進出を或る程度食ひ止める事にもなるのでないか、三越の樣な大資本に進出されたんでは寶山百貨店どころか一般商店は勿論各百貨店の受ける打擊は今よりも更に大きく、狀態が惡化される事を覺悟せねばならない、其の他各百貨店の擴大と云つても唯今の處百貨店に附隨する顧客へのサービス設備くらゐのもので大した事はない

以上百貨店側の主張を要約すれば結局婉曲に商店側の要求を拒否する事となるものであり成行は注目されるに至つた

公會堂ニュース

▽二十二日午後七時より新京商店聯合會創立委員會
▽同日午後七時より十一時迄長春會

全滿劍道段外戰に 新京滿鐵チーム優勝

優勝刀獲得、昨夜凱旋した

全滿劍道段外優勝刀爭霸戰は二十一日午前九時より奉天道場において花々しく擧行されたが、新京より出場の新京滿鐵チームは善戰各地代表强豪を堵り見事優勝刀を獲得、選手一行は同日午後八時四十五分着列車で佐々木監督に引率され關係者に出迎へられ歸京した

有段者大會で 柔道も優勝

滿洲柔道有段者會主催第十三回全滿柔道有段者團體優勝爭霸戰は二十一日鞍山道場に於て擧行されたが、新京より出場の滿洲武道會ピックアップチームは各强豪を堵つて見事優勝した旨藤田監督より來電あつた、尙選手一行は本日凱旋の筈

牛島討伐隊 各地で匪團擊滅

【奉天國通】園部々隊本部發表—牛島討伐隊の靑木〇隊は十八日午後三時頃鳳城縣第二區權子皆附近において東黑、老北風の合流匪と遭遇、交戰四時間にして敵十七を斃し四散せしめた、右戰鬪において一等兵金田武君は負傷した、鶴羽特務曹長の率ゆる〇〇名は廿日午前九時頃岫巖縣第二區大房身附近において匪首不明の有力賊團と遭遇、交戰時餘にしてこれに大打擊を與へ潰走せしめたが、右戰鬪において一等兵平田武治（千葉縣市原郡出身）君は名譽の戰死をとげた

常設館で盜難

新京千鳥町三、里見イモ子さんは二十日午後七時頃帝都キネマに赴き三階正面疊敷きの中央にて活動を見物中持參した靑皮製ハンドバック一個時價二十圓をそのまゝにして中途席を立つて便所に行つた間何者にか竊取され領警署に屆出でた

實業部文書科長 神田氏着任

新任實業部文書科長神田暹氏は廿一日午後「あじあ」で岸總務司長、五十子農務司長等多數關係者の出迎裡に着京、ヤマトホテルに入つたが驛頭左の如く語る

滿洲には一昨年二週間ばかり來たことがあるが、ほんとの白紙で大いに勉强してやりたいと思つてゐる、岸總務司長とは商工省時代十四、五年も下で働いたので岸さんの指導を得て萬事大いに頑張る積りである、產業五ケ年計畫の遂行に就いては内地方面でも相當研究されてゐるが、一段の檢討が必要であらう、幸ひ知己友人もあるので意を强うしてゐる

徐錦州省長來京

徐錦州省々長は萬壽節奉祝のため廿一日あじあで着京、ヤマトホテルに投宿した

フレンソーダ

滿鐵醫院の耳鼻科醫長西垣氏のカメラ通として、また腕前に鼻高々である事は醫院噂雀の話の種—▼そしてかつての日銀パレスの女給さんを腕にヨリをかけて撮つた寫眞が▼同店の宣傳廣告のビラに載せられ西垣氏曰く『僕の腕けざつとこんなものさ—』と得意滿面▼ところがこの道にかけての氏の恩師は同じ耳鼻科に勤務の佐藤醫學士であるが▼西垣氏また曰く『師いつまでも師にあらず斷然師弟顚倒だ』と、まことに當る可からざる氣質、傍に寄つては危いですぞ—

訂正

本紙二十二日附夕刊記事『緬羊界の元老小室道郎氏來京談』中『肉がない』とあるは〃肉が甘い〃の誤植につき訂正

ラヂオ けふの番組

(M・T・C・Y 新京放送局) 廿二日(月曜日)

(朝)

七・五〇 ラヂオ體操(東京)
八・一〇 氣象通報 入港船のお知らせ(大連)
八・一五 初等滿洲語講座(大連) 講師 秩父固太郎
八・四〇 朝の音樂(大連)
九・三〇 經濟市況(東京)
九・四五 建國體操
一〇・四〇 經濟市況(大連、新京)
一一・〇〇 家庭講座 家庭常備藥に就て 醫學博士 鈴木紀
一一・二〇 料理獻立(奉天)
一一・三〇 家庭メモ
一一・三五 經濟市況(大連)
一一・四〇 經濟市況(東京)
一一・五九 時報(東京)

(晝)

〇・〇五 晝の演藝(レコード)
〇・四〇 ニュース(東京、新京)
一・〇〇 經濟市況(大連、新京)
三・〇〇 經濟市況(東京)
三・五〇 經濟市況(大連)
四・〇〇 ニュース(東京、新京)
四・三〇 經濟市況(大連)
五・二〇 ニュース(鮮語)
ハーモニカ二重奏 李白煥 金英煥
一、海を越えて 二、女神の舞 三、打鈴 四、白打鈴 五、梁山道

(夜)

六・〇〇 子供の時間(奉天)
童謠 植田貞子 伴奏 奉天銀嶺管絃團
(一)イ、あした 清水かつら作詞 弘田龍太郎作曲
ロ、お月さん 西條八十作詞 本居長世作曲
ハ、落葉のおどり 鹿島鳴秋作詞 弘田龍太郎作曲
(二)イ、島 伊東龍子 百田宗治作詞 中山晋平作曲
ロ、溫泉町から 葛原しげる作詞 本居長世作曲・外
六・二〇 コドモの新聞(東京) 村岡花子
六・二五 講演 專賣法實施に就て 專賣總署總務科長 山梨武夫
六・五五 カレントトピックス(東京)
七・〇〇 ニュース(東京) ニュース、告知事項、番組豫告(新京)
七・三〇 講演(東京) 我國に於ける鐵工業の現況 山縣憕介
八・〇〇 ピアノ獨奏(東京) レオニード・クロイツアー
八・三〇 俗曲(東京) ―日比谷公會堂より中繼―
八・四五 落語(東京) 浴場綺談 翁家さん馬
九・〇五 軍歌三夜「第二夜」(大阪) 昭和の軍歌 齊唱 大阪放送合唱團 伴奏 大阪ラヂオオーケストラ 指揮 幅喜多鐵雄 一、肉彈三勇士 二、爆彈三勇士 外
九・三〇 時報、ニュース(東京) ニュース、告知事項、氣象通報、番組豫告(新京)
一〇・〇〇 常磐津(大連) 常磐の老松 淨瑠璃 常磐津正三津 同 關彌 同 ゆか榮 三味線 とめ 同 小榮
一〇・三〇 北滿の時間(哈爾濱)

クロイツアー氏のピアノ獨奏

後八・〇〇 東京より ―ショパン舞曲集―

一、マヅルカ

(イ)嬰ハ短調 作品四十一 第一番

ショパン獨特の甘美な旋律と鮮やかな轉調及び雄大なクライマックスに依つて、五十一曲のマヅルカの中でこの曲は燦然と輝いてゐる。

(ロ)ロ短調 作品三十三 第四番

このマヅルカには二篇の詩に依る標題が結びつけられてゐる。然しその詩を探して丹念に曲と引き合せするよりも旋律の中から溢れ出る諧謔味を翫味する方が、よりよい觀賞法であらう。

(ハ)嬰ヘ短調 作品五十九 第三番

ショパン以外には人も描き出し得なかつた華麗。纖細。哀愁の情趣を含みに持つこの曲は彼の藝術の圓熟の境を示すものである。

(ニ)ヘ短調 作品七 第三番

五十一曲のマヅルカの何れのを採つても磨かれた寶石であるがこの物悲しい冥想的暗示的なマヅルカは眞實の心の鼓に響きわたる。

二、圓舞曲

(イ)嬰ハ短調

この圓舞曲は凡ゆるショパンの圓舞曲の中で最も詩的な曲で、しつとりとした美しい哀愁を含む抒情的な旋律は、この曲の生命となつて柔らかく息づいてゐる。

(ロ)變イ長調 作品六十四 第三番

艶い優雅なこの曲を聞いて、誰か當時(一八四七年)ショパンの背後に忍び寄つた死魔を感じ得よう。天才的な閃きのある智的な歡喜は死ぬ迄ショパンが持ち續けた美しい魂であつた。

(ハ)ホ短調

遺稿として出版されたこの曲にも凡ての圓舞曲に共通なショパンの横顔が鮮やかに浮び上つてゐる。

三、ポロネーズ

變イ長調 作品五十三

ショパンの三大ポロネーズの一つであるこの曲は優美とか華麗とか云ふ生優しいものではなく、全曲に漲る豪壯、莊嚴な雰圍氣によつて聽く者の魂を忽ちにして引つ攫んでしまふ物凄い迫力を持つてゐる

俗曲四曲

後八・三〇 東京より 唄ふは百太郎、小梅

(一)百太郎

三味線 三代吉
同 喜美榮
囃子 連中

今度の戰ひにやどうでもイクタイ、いかなきや俺等の身が立たぬ、しようかしようかネどうしよか隊長さん「雨は降る〳〵陣羽はぬる」

イ、梅にも春

「梅にも春の色そへて。若水くみか車井の、音もせはしき鳥追ひや、あさ日にしげき人影は、もしや思ふ戀の慾、遠音かぐらの數とりに、待つ辻占やねずみ鳴き、逢うて嬉しき酒機嫌

ロ、鴨綠江節

「朝鮮と滿洲の境のアノ鴨綠江、流す筏はアラよけれども ヨイショ雪や氷にヤッコラ閉されてヨ、明日は又安東縣に着かりよかチヨイチヨイ

「朝鮮で一番高いのはアノ白頭山峰の白雪アラ解くるとも ヨイショ解けはせぬぞえアラわしが胸よ、あけ暮れまたあなたの夢ばかりチヨイチヨイ

(二)小梅

イ、昭和豪傑隊長さん

「どうせ死ぬなら櫻の下よ、死なば屍に花が散る 越すに越されぬ田原坂 一の城とり二の城落す、あとは御旗の風が散る 「飲んで唄へば身も世も晴れるなんの非常時吹きとばせ

ロ、わしが國さ

「わしが國さで見せたいものは、昔や谷風今伊達模樣、ゆかしなつかし宮城野しのぶ、浮かれまいぞえ松島ほとり、しよんがいな。

(落)(語) 浴場綺談

後八・四五 東京より 翁家さん馬

金貸しの利吉さんは五十八になつてはじめて嫁を貰ふことになりおめかしに錢湯に行く、嫁といふものがどういふ工合のものかさつぱりわからず、浴客にいろいろ尋ねるが餘り馬鹿らしくてけんつくをくはす客も出てくる、とゞのつまりお嫁さんとの應待の表情を一人でやつてみせ、夢中になりすぎて湯に落ちるので浴客一同びつくりする「おい〳〵金さん、お前さんの顏から血が出てるぜ」「あんまりあいつが可笑しなことをしやがるから知らずに輕石で顏をこすつちまつた」

今日の話題

△滿洲國皇帝陛下の御誕辰(萬壽節)
△愛知縣の大國魂神社の裸祭
△平清盛經文を嚴島神社に納む(仁安二年)
△「漢委奴國王之印」とある黃金の印を筑前志賀島で掘り出す(天明四年)
△織田信長安土城に移る(天正四年)
△ムソリニ世界大戰中重傷を負ふ(西暦一九一七年)

悲戀 髑髏組 (映畫化上演)

林杢兵衛 金子士郎 畫

(十)

下司の謀計(一)

翌る日の八つ下り七つさき近い頃、井筒家との婚禮準備でてんてこ舞ひをしてゐる丁字屋の裏門から、するりと抜け出した娘の幾代――

かつて踊り出をしたことのない彼女だが、一體何處へ行くのだらう。あささきにそれとなく氣を配る其の動作から推して、內緒の外出は明らかだ。

丁度その時、きのふの騷ぎを知る由もなく、惣兵衞の片耳を儲けさすべく、猪首の勘太が丁字屋に足を運んでゐた。

『小六の野郎はあゝ言やがつたが、いくら左前の落目世帶でも、俺等のやうなやくざ者が持ち込む話を信用する氣遣えはねえ。だが物事は當つて碎けろてえこともあるから、行くだけは行つても見やうが何にしても心細え話だ。ところで待てよ……そうだ。裏から這入れる身分ぢやねえから裏門へ廻つてやらう……おやッ!ありや確に幾代さんだ。裏道をあんな方へ……おかしいなア、一體何處へ行くんだらう?奇體なこともあるもんだ。よし、一番あとを尾行けてやらう』

急に尻端折つて、勘太が幾代のあとを尾行する。

こうした男があることに氣もつかず、材木屋の狹い小路を抜けて街道へ出た幾代は、脇目も振らず宿場を東へ出離れたが、尙、運ぶ足どりをゆるめない。

『變だなア、もう向ふは小半里行かねえちや家はねえんだが……おや〳〵あんなところへ這入りやがる。まてよ、ありやア得體の知れねえ浪人者の住み家だ。何の用事があるんか知らねえが、不思議だ』

ことのあまりにも意外さに思はず小首をひねつた勘太。

『おかしいぞ。まさかあの浪人者が情夫ぢやあるめえ。そうだ、一寸窺つて見てやらア』

戸締さへも完全でない廢屋覗き見する隙間は何處にもある。

『あれ!野郎寢そべつてやがる。な、なんだと、刑部様だ?畜生ッ!聲が小せえや、おや鎌首をもたげたな。幾代とのか。だつと?あれ〳〵、上り込みやがる。矢ッ張り情夫だ。こりやアこうしてゐられねえ』

口のうちに吃いた勘太が踵を返して驅出した。

『小六、大變だ』

『小六さんの家なら隣ですよ……』

と、婆アの聲。

『なんだ婆アか、馬鹿にしてやがる』

投げつけるやうに言つて隣の家。

『小六、コロ公は居ねえか、大變だ』

『なんてえ騷々しい、コロ公たア何んだ。落ついて物を言へ』

『なんだ、そこにゐたんか。落ついちや居られねえ、情夫があるんだ』

『ないを?情夫たアなんだ』

『血のめぐりの悪い野郎だなア、しつかりしろい、情夫があるんだ幾代さんに……』

『なに、情夫がある?勘太そりや本當か?』

『本當にもなんにも、たつた今媾曳してゐるところを、ちやんと見屆けて來たんだ』

『して、相手の男ッてえなア一體誰だ?』

『それがさ、飛んでもねえ野郎なんだ』

『誰だ?』

『宿外れの松ン中に居る浪人者だ』

『ふーむ。勘太、間違えはなからうなア』

『間違つて堪まるけえ、しかも女の方からわざ〳〵御輿を運ぶんだ』

『そうか……』

重い口調でそう言つたまゝ暫く考へ込んだ小六。

『いやに考へ込んだが、何んとかせすばなるめえ、何しろ御用風の本家本元から、大枚五兩をせしめたんだからよ』

勘太も共に心配顏だ。やがて小六が

『うん、そうだ。いゝことがあらア』

と、小膝を打つた。